

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
1	市民健康センター感染症対策環境整備事業	①市民の健康維持に必要な施設の感染症対策を行うとともに市民にマスクを配布することで感染症が蔓延する中でも市民の健康を維持する。 ②市民健康センターの感染症対策及びマスク配布に要する経費 ③網戸設置 42枚分 917千円 自動手指消毒器 1台18千円 次亜塩素酸空気除菌清浄機 2台×235,400円=471千円 検診時仕切用衝立 6台×18,370円=111千円 非接触体温計 3台×14,300円=43千円 備蓄用マスク 100,000枚×9.24円=924千円 消毒用アルコール 80千円 感染予防対策消耗品 900千円 マスク送付用郵券料 98千円 事業関連時間外手当 1,460h×2,580円=3,767千円 ④市民健康センター	令和2年6月15日	令和3年3月31日	6,184,056	6,180,000	<ul style="list-style-type: none"> 市民健康センターの網戸設置 空気清浄機、自動手指消毒器、衝立の購入 マスク、消毒用アルコールの購入 事業関連時間外勤務手当の支出 	<ul style="list-style-type: none"> センター内の感染対策がより徹底され、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。 マスクや消毒用アルコールの備蓄を実施することで、医療体制の維持に備えることができた。
2	休日診療所感染症対策環境整備事業	①市民の健康維持に必要な施設の感染症対策を行うことで感染症が蔓延する中でも市民の健康を維持する。 ②休日診療所の感染症対策に要する経費 ③網戸設置 3枚 87千円 非接触体温計 2台×9,020円=18千円 マスク 2,000枚×9.24円=18千円 フェイスシールド 1,000枚×181.5円=182千円 防護服 1,000枚×429円=429千円 感染予防対策消耗品 385千円 自動手指消毒器 1台 18千円 次亜塩素酸空気除菌清浄機 616千円(待合室266,200円、小児診察室174,900円、成人診察室174,900円) ④休日診療所	令和2年6月15日	令和3年3月31日	1,739,483	1,730,000	<ul style="list-style-type: none"> 休日診療所の網戸設置 非接触体温計、マスク、フェイスシールド、防護服など感染対策のための消耗品を購入 自動手指消毒器1台、次亜塩素酸空気除菌清浄機3台を購入 	<ul style="list-style-type: none"> 休日診療所の感染対策を強化し、患者や従事するスタッフが安心できる環境づくりに寄与した。 マスクやフェイスシールド、防護服などの備蓄を増やすことで、今後発生するかもしれない急速な感染拡大に備えることができた。
3	中町にぎわい健康プラザ感染症対策環境整備事業	①市民の健康維持に必要な施設の感染症対策を行うことで感染症が蔓延する中でも市民の健康を維持する。 ②中町にぎわい健康プラザの感染症対策に要する経費 ③非接触体温計 2台×14,300円=29千円 マスク2,000枚×9.24円=19千円 消毒用次亜塩素酸水一式14千円 手指消毒液 一式264千円 パーテーション(大) 7枚×45,760円=321千円 パーテーション(小) 7枚×18,480円=130千円 自動手指消毒器 3台×17,050円=52千円 空気除菌機 1台236千円 ④中町にぎわい健康プラザ	令和2年6月15日	令和3年3月23日	1,060,550	1,029,000	<ul style="list-style-type: none"> マスク、消毒用アルコールの購入 非接触型体温計、自動手指消毒器、次亜塩素水、アルコール消毒類、蓋付きゴミ箱 パーテーションを設置した。 次亜塩素酸空気清浄機購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のものについて、物品類を施設に設置したことで、施設の換気機能が向上し新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。 マスクやアルコール消毒類を設置したことで市民の健康維持することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
4	オンラインカウンセリング支援事業	①オンラインで健康・妊娠・子育て等の各種相談ができるよう、通信環境の整備等を行う。 ②オンライン相談設備導入費 ③PC関連機器(PC,カードリーダー、ヘッドセット、オフィスソフト)購入及び設定費 205千円 ライセンス手数料 39千円 WEB会議システムライセンス料 55千円 ④市民健康センター	令和2年9月15日	令和3年2月19日	298,221	0		
5	看護専門学校感染対策事業	①本市が設置している看護専門学校の感染防止を図るとともに、感染症が拡大する中でも学生が学習可能な環境を整備する。 ②イ 看護専門学校の感染防止対策経費 ロ オンライン学習環境整備費 ハ 病院での実習時に必要となるマスク購入費 ニ 実施研修の代替に係る備品購入費 ③イ トイレ改修工事費 4,021,000円、 在宅実習室空調工事 1,897,000円 ロ パソコン(サーバー含)購入及び設定費 31台購入 7,284,310円 ノートパソコン購入費 3台×98,890円=296,670円 カメラ・マイク購入費 1台×130,350円=130,350円 プロジェクター購入費 2台×176,000円=352,000円 ワイヤレスマイクスピーカー購入費 2台×149,600円=299,200円 ヘッドセット購入費 32セット×1,507円=48,224円 オンライン授業導入設定委託料(導入設定、運用サポート、無線LAN整備)3,069,000円 スマートスイッチ14,850円 ハ マスク購入費 600箱(50枚入)×3,300円=1,980,000円 非接触式体温計 3台×14,300円=42,900円 手指消毒液 127本購入91,900円 ノータッチ式ディスペンサー 1台×17,050円 ニ 看護実習代替用多職種連携シミュレータ 1台×2,970,000円 ④看護専門学校	令和2年5月27日	令和3年3月31日	22,643,042	22,250,000	・マスク、消毒用アルコールの購入 ・感染防止を図るための環境整備 ・感染症が拡大する中でも学習が可能な環境を整備し、必要備品を整えた。	・校舎内の整備により、感染リスクが減り、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。 ・マスク、消毒液、授業教材、実習シミュレータを準備でき、安心安全に学びを継続することが出来、地域医療の担い手となる看護人材の育成に寄与することができた。
6	介護施設等感染症対策事業	①住民主体の通いの場へマスクを配布するとともに、介護施設で感染症が発生した際に緊急的に介護施設に配布する衛生用品を備蓄することで、地域全体への感染拡大を防止する。 ②③ マスク 30,000枚×6.6円=198,000円 フェイスシールド 10,000円×81.4円=814,000円 ゴーグル 396円×500個=198,000円 ガウン 137.5円×500個=68,750円 手袋 60.12円×2,000枚=120,240円 消毒スプレー 913円×1,000本=913,000円 サージカルキャップ 40円×500枚=20,000円 ④市内介護施設	令和2年9月15日	令和3年3月31日	2,219,140	2,210,000	・左記物品の購入。ただし以下については、記載の通り購入。 ・手袋 10.12円×2,000枚=20,240円 ・サージカルキャップ 14.3円×500枚=7,150円	現状十分な備蓄がない介護施設等において、新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合に、緊急的に必要となる衛生用品を迅速に供給(配布)できる衛生用品を市に備蓄することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
7	新型コロナウイルス感染症 避難所対策事業	<p>①避難所の衛生環境を保つとともに、避難所の密回避を行うことで避難所の感染予防を行う。</p> <p>②イ 感染予防用品購入経費 ロ ホテルでの避難者受け入れに要する経費（災害時に要配慮者が、市が指定した宿泊施設に避難した場合、対象経費の2/3（上限1万円）を補助する経費及び事業周知経費） ハ 新型コロナウイルス感染症対応関連時間外手当</p> <p>③イ 非接触型体温計 72個×3,630円＝261,360円 接触型体温計 202個×1,815円＝366,630円 非接触型体温計用単4電池 200本×134円＝28,600円 消耗品費（避難所用石鹸、紙タオル、手袋、ガウン、USB充電器、フェイスシールド、コンテナボックス、案内表示掲示物）1,140,532円 避難所受付用飛沫防止パーテーション① 280台×924円＝258,720円 避難所受付用飛沫防止パーテーション② 2台×1,430円＝2,860円 避難所配置職員用差替えベスト 100着×2,189円＝218,900円 折り畳みベッド 610個×8,338円＝5,086,180円 簡易ベッド 190台×14,300円＝2,717,000円 段ボールベッド 900台×3,960円＝3,564,000円 段ボールパーテーション① 250枚×831.6円＝207,900円 段ボールパーテーション② 1,500枚×415.8円＝623,700円 段ボールパーテーション③ 1,900枚×374円＝710,600円 多目的テント 116台×41578.9円＝4,823,152円 避難所用圧縮毛布 2,000枚×2,860円＝5,720,000円 防災用品備蓄庫整備工事費 23か所×1,200,000円＝34,800,000円 ロ ホテル避難所事業周知用消耗品費（案内送付用封筒）90,640円 送料 5,180枚×84円＝435,120円 補助金 10,000円×60人×3回（災害数）＝1,800,000円 ハ 時間外手当1,644h×2,580円＝4,241,520円</p> <p>④イ 市内避難所 ロ 災害時に市が指定した宿泊施設に避難した要配慮者 ハ 新型コロナウイルス感染症対応業務を行った職員</p>	令和2年6月18日	令和3年7月13日	61,628,012	61,587,500	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及びコミュニティセンター避難所へ非接触体温計や使い捨てガウン、フェイスシールド等の感染予防用品の導入 ・学校避難所へベットや毛布、パーテーションの導入 ・学校避難所へ避難所用品保管用の防災資機材庫を建設 ・ホテルでの避難者受け入れ事業周知の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及びコミュニティセンター避難所における感染予防対策が進み、避難所における新型コロナウイルスの感染リスクの大幅な軽減につながった。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
8	危機管理対策事業	<p>①宿泊施設への宿泊費用を補助することで家族内感染予防を行うとともに避難所や高齢者にマスクや消毒液を配布することで感染予防を行う。</p> <p>②③</p> <p>イ 医療従事者及び入所等施設従事者（その家族を含む）が感染予防のため自宅に戻らずホテルを利用した場合の宿泊費を助成 ①医療従事者の宿泊分 2,000円×8泊分=16,000円 ②医療従事者の家族の宿泊分 8,000円×175泊分=1,400,000円 ③医療従事者の宿泊に伴う寝具借上料 7名分を20日分×一式=78,980円</p> <p>ロ 感染拡大地域と往来する家族がいる児童生徒が家族内感染を避けるため市と契約したホテル等を保護者と利用する場合宿泊費の一部を助成 20世帯*14泊*6,000円*2回=3,360,000円</p> <p>ハ 避難所用マスク・消毒液購入経費 備蓄マスク 10,000枚×43円=430,000円 避難所配備用消毒液※1リットルポンプ付き ①(1,650円×120本=198,000円)+②(2,090円×120本=250,800円)+③(1,485円×10缶=178,200円) 詰め替え用消毒液※15リットル一斗缶 ①(8,800円×3缶=26,400円)+②(8,800円×10缶=88,000円)+③(4,860円×120缶=48,600円) 新型コロナウイルス感染症対策施設消毒用部材（次亜塩素酸水保管用テナー、コック） 475.2円×200セット=95,040円 避難所備蓄水土のう 550円×900枚=495,000円 避難所備蓄防災防水シート 3,780円×81枚×1.1=336,798円 避難所備蓄単一電池（6本パック） 898円×25セット×1.1=24,695円 避難所備蓄カセットボンベ（3本パック） 598円×40セット×1.1=26,312円</p> <p>ニ 高齢者用マスク購入・配布経費 マスク 49.9円*10万枚=4,990,000円 マスク郵送用消耗品費（封筒代、ビニール袋、） 274,348円 マスク郵送用印刷費 63,885円 郵送料 100円×約13,130世帯≠1,313,905円 ※割引適用あり</p> <p>④イ 医療従事者及び入所等施設従事者 ロ 感染拡大地域と往来する家族がいる児童生徒及びその保護者 ハ 避難所 ニ 市内高齢者</p>	令和2年4月1日	令和3年1月20日	10,167,134	10,160,000	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及びコミュニティセンター避難所へマスク及び手指消毒用アルコール等の感染予防用品の購入 ・マスク品薄時において、高齢者世帯へ不織布マスク配布 ・医療従事者等（その家族を含む）が感染予防のためホテルを利用した場合の宿泊費の助成や宿泊用の寝具の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク品薄時においての高齢者世帯マスク配布事業や、学校等避難所への衛生関連資機材配備など各種事業を展開したことにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながった。 ・医療従事者等への宿泊先を提供することにより、疲労負担の軽減や勤務環境の向上が図られた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
9	保健衛生総務 管理事業	①市民対象の保健衛生事業(乳幼児健診や子育て相談、健康相談等)で来庁される方にマスク配布と消毒徹底を行うとともに、感染予防策の市民周知を行うことで感染予防を行う。 ②イ マスク及び消毒液購入費 □ 市民向け感染予防策広報費 ③イ マスク11円×20,000枚=220,000円 消毒液464,000円 □ 広報折込チラシ印刷製本費192,962円×6回 =1,157,772円 ④イ 来庁者 □ 市広報配布先	令和2年4月1日	令和3年3月31日	984,111	0		
10	遠距離通学対 策事業	①スクールバスを増便することで、児童の過密を避け、感染症を予防する。 ②③イ スクールバス増便分運行委託料 10校分 41,105,000円 □ バス・タクシー借り上げ料 28,000円×45日=1,260,000円 ④小中学生	令和2年5月27日	令和3年3月31日	38,556,727	38,550,000	・過密対策としてスクールバスの増便 ・借上委託12台 借上3台	・バス・タクシーで通学する生徒の乗車時の過密を防ぐことができ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
11	新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業	<p>①外出自粛等による経済活動の低迷を理由とした市内事業者を支援することにより、雇用の維持を図る。</p> <p>②③イ 県・市・金融機関による無利子融資のための利子および保証料支援（令和2年度分）117,000千円（県補助37,000千円）</p> <p>ロ 飲食店、宿泊業事業者に令和2年3月分の水道代の15倍相当額（下限15万円）を支給する経費。及び「新しい生活様式」に向けた感染防止対策を講じる支援として、5万円を支給するとともに、各店舗等で感染防止対策実施をしていることをPRするステッカー（再剥離タイプ）を配布する経費245,496千円（県補助422千円）</p> <p>ハ タクシー、運転代行業者に営業車両1台当たり15万円を支給する経費34,500千円</p> <p>ニ 飲食のテイクアウトサービスを行う事業者に3万円を支給する経費10,500千円（県補助5,250千円）</p> <p>ホ 旅行業を対象に50万円、貸切バス業を対象に大型バス1台当たり25万円、中型・小型バスを対象に1台当たり15万円、指定観光施設を対象に1施設当たり50万円を支給する経費12,050千円</p> <p>ヘ 売上が減少し、金融機関から融資を受けた中小企業者を対象に、従業員の雇用継続を目的として、従業員1名につき5万円を支給する経費275,000千円</p> <p>ト 貸切バス業、タクシー業、運転代行業、貨物運送業、レンタカー業、自動車教習所を営む中小企業者（みなし大企業を除く）が「新しい生活様式への対応」に取り組む事業に対し、最大20万円（補助率100%）の補助金を交付する経費13,090千円（県補助6,545千円）</p> <p>チ 事業者向け緊急相談窓口開設経費874千円</p> <p>リ 県・市町村・商工団体が連携し、消費喚起事業を行うための協議会負担金3,050千円</p> <p>ヌ おうちで食べよう・バイさかたキャンペーン用のぼり作成費（飲食店用）636千円</p> <p>ル 上記に係る人件費1,672千円 （県補助合計49,178千円）</p> <p>④イ 市内事業者へ融資した金融機関及び信用保証協会</p> <p>ロ、ハ、ホ、ニ、ト 市内事業者</p> <p>ヘ 山形県緊急地域経済対策協議会</p> <p>チ 時間外勤務をした職員</p>	令和2年4月1日	令和3年3月31日	664,821,506	617,720,000	別紙のとおり	<p>申請手続きを簡素化し、経済的な影響を受けている業種に速やかな支援を行うことができた。</p> <p>市内事業者を対象に実施した「業況調査」や「新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査」では、本市が実施した経済対策に対して高評価の意見があった。</p>

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
12	「もっけ玉」活用支援事業	①先払いチケットに対し補助することで、市内店舗の現金収入確保を支援する。 ②「もっけ玉」事業者補助金（対象：先払いチケット運営事務局となる事業者） ③イ web版先払いチケットへのプレミア付加分の補助（対象：先払いチケットの販売価格の20%、上限50,000円）50,000円×100店舗=5,000,000円 ロ 紙版先払いチケットへのプレミア付加分の補助（対象：先払いチケットの販売価格の20%、上限50,000円）50,000円×383店舗=19,150,000円 ハ 発行事務補助 webシステム等改修補助2,900,000円+登録店舗当たり829円×483店舗+チケット印刷補助2円×200,000枚=3,700,407円 ④市内で事業を営む店舗（イ、ロ）、先払いチケット運営事務局となる事業者（ハ）	令和2年5月7日	令和3年4月30日	25,240,620	25,240,000	①web版先払い電子チケット事業費4,866,100円、チケット販売額16,080,500円 ②紙版先払いチケット事業費20,374,520円、チケット販売額91,585,000円	電子チケット、紙チケット（商品券）いずれも販売も使用も当該店舗のみとしたことや、チケットの売上総額が1億円を超えたことから、コロナ禍にあつて各店舗での販売、市民の消費活動といった地域経済に与えた効果はかなり大きいものがある。
13	緊急学生支援事業	①生活に困窮する大学生等を市で雇用することで生活の維持を図る。 ②学生の短期雇用人件費 ③報酬866円×4時間×3人×14日=145,488円 報酬866円×6時間×3人×18日=280,584円 通勤手当110円×96回=10,560円 ④生活に困窮する大学生等	令和2年6月3日	令和3年3月25日	450,293	0		
14	特別児童扶養手当受給世帯緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症により家計に影響を受ける障がい児養育世帯の生活を支援する。 ②特別児童扶養手当受給世帯への支援金の支給に要する経費 ③特別児童扶養手当受給世帯緊急支援金20千円×217世帯=4,340,000円 ④障がい児養育世帯	令和2年5月27日	令和3年3月31日	4,340,000	4,340,000	・令和2年5月31日現在で本市に住民登録のある特別扶養手当受給者に対し、2万円を支給した。	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている障がい児世帯の生活の安定と経済的負担の軽減を図ることができた。 （交付率100%を達成）
15	ひとり親家庭等緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症により家計に影響を受けるひとり親家庭の生活を支援する。 ②児童扶養手当を受給するひとり親世帯等への支援金の支給に要する経費 ③臨時特別給付金20,000円×742世帯=14,840,000円、支給事務用消耗品費38,000円、チラシ印刷費94,000円、郵送料56,000円、4,5,6月いずれかの月で児童扶養手当の受給対象となっている世帯を割り出すためのシステム改修委託料242,000円 ④ひとり親家庭	令和2年5月7日	令和3年3月31日	15,167,284	15,160,000	・児童扶養手当受給者に対し20,000円を支給 ・給付 742件14,840,000円	・新型コロナウイルス感染症により家計に影響を受けるひとり親世帯等の生活の安定と経済的負担の軽減に寄与することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
16	新型コロナウイルス関連水産業打撃克服対策事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷により影響を受ける漁業者に対し支援するもの。</p> <p>②イ 漁業者向け箱代補助金(対象:山形県漁協、補助対象:水揚げする際の魚箱代、補助率:1/3) ロ 流通業者向け箱処理代補助金(対象:酒田水産物協同組合、補助対象:水揚げされた際の魚箱処理費:補助率1/3) ハ 大型コンテナ設置費補助金(対象:山形県漁協、補助対象:水揚げする際の箱代、補助率:15%) ニ 流通確保緊急支援補助金(対象:山形県漁協、補助対象:保管料等、補助率1/3)</p> <p>③イ 年間魚箱代24,000千円×1/2=12,000千円 ロ 年間魚箱処理代3,750千円×1/3=1,250千円 ハ コンテナ経費1,436千円×15%=216千円 ニ 輸送及び保管経費6,000千円×1/3=2,000千円</p> <p>④イ、ハ、ニ:山形県漁業協同組合 ロ:酒田水産物協同組合</p>	令和2年7月1日	令和3年4月30日	13,815,000	12,070,000	<p>漁業者向け箱代補助金 31,048,061×1/3 =10,349,000(千円未満切捨)</p> <p>流通業者向け箱処理代補助金 3,765,800×1/3 =1,250,000(予算上限)</p> <p>大型コンテナ設置費補助金 1,563,320×1/3 =216,000(予算上限)</p> <p>流通確保緊急支援補助金 6,159,198×1/3 =2,000,000(予算上限)</p>	<p>漁業者向け箱代補助金 魚価が3割以上下落し漁業所得が大幅に減少した中での支援は大きな効果があった。</p> <p>流通業者向け箱処理代補助金 水産物の流通停滞により打撃を受けた事業者に対し効果があった。</p> <p>大型コンテナ設置費補助金 大型コンテナ導入による一括大量取引により出荷コストを大幅に削減することができた。</p> <p>流通確保緊急支援補助金 緊急的に保管場所を確保できたことで、危機を回避し事業継続することができた。</p>
17	さかた農産物消費拡大事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により経営に打撃を受けた花き農家及び畜産農家を支援するとともに、外食向け需要が落ち込むことを見据え、新たな形での消費拡大・地産地消を行うための仕組みを作るもの。</p> <p>②③イ 市民の結婚・誕生時に花を贈る経費(負担金) 2,500円×1000件=2,500千円 ロ 酒田産花き商品開発等実証への支援経費 梱包材、販促用シール等の購入経費として酒田農業再生協議会に対する負担金 1,000千円 ハ 需要に応じた酒田産農畜産物の生産と新たな販売手法を探り、大消費地である首都圏での消費拡大を図るための検証調査経費として酒田農業再生協議会に対する負担金 3,000千円 ニ 農産物の地産地消を推進するため提案型公募を実施し、採用された実証実験を行う新たな協議会への負担金 5,000千円</p> <p>④イロハ:酒田農業再生協議会、ニ:新協議会(つなぐSAKATA)</p>	令和2年5月7日	令和2年12月28日	11,500,000	11,500,000	<p>イロ 酒田市農業再生協議会(酒田の花づくり応援事業)に負担金を支出し、婚姻・出生時に酒田産の花を贈ることで地場産花きの消費拡大や普及啓発に取り組んだ。(597件1,492,5千円)</p> <p>ハ 酒田市農業再生協議会に負担金を支出し、首都圏の飲食店で酒田の農畜産物を使用したメニュー開発、酒田フェアの開催による食材の調査、検証を行った。</p> <p>ニ つなぐSAKATA(協議会)に負担金を支出し、食の確保を図ることで地域の強靱化につなげるため地産地消を推進する活動を支援した。</p>	<p>イロ 市内花き販売店等との連携によるネットワークの強化を図ることで酒田産花きの消費拡大や普及啓発に寄与した。</p> <p>ハ 酒田産品はシェフからの評価も高く、継続的に使いたいとのリクエストもあり、首都圏での消費拡大に向けた足掛かりが図られた。</p> <p>ニ 実証実験によりNPO法人が地場産食材による宅配サービスに取組むなど地産地消の推進が図られた。</p>

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
18	新型コロナウイルス関連農業打撃克服対策事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷により影響を受ける農業者に対し次期作等に向けた支援をするもの。</p> <p>②イ 今後の農業の生産性向上のための土づくり事業 ロ 園芸農家の種購入に対する補助金(対象:市内園芸農家、対象経費:球根及び種の購入経費、補助金額:4,000円/a~12,000円/a) ハ 園芸農家の施設・機械整備に対する補助金(対象:市内園芸農家、対象経費:施設・機械整備経費、補助率1/12)</p> <p>③イ 土壌改良事業負担金 900ha×10千円=9,000千円 土づくり研修開催負担金 1,000千円 ロ 対象面積A450a×12,000円、B300a×7,000円、C1,850a×4,000円 計(A+B+C)≒15,000千円 ハ 72,000千円(施設・機械整備費)×1/12=6,000千円</p> <p>④イ 酒田農業再生協議会 ロ、ハ 市内園芸農家</p>	令和2年6月15日	令和3年3月30日	28,015,000	28,010,000	<p>イ)土壌改良事業負担金 ほ場の土づくりを目的として、酒田農業再生協議会に交付 負担金:1,000千円(同協議会が土壌改良事業を実施した391経営体に交付、土づくり研修会を14回実施)</p> <p>ロ)花き次期作支援 次期作に向け、種苗代等の経費の一部を支援 補助金:8件、15,736千円</p> <p>ハ)施設・機械整備支援 コロナ後の回復を見据え、新たな設備投資の一部を支援 補助金:5件、2,279千円</p>	<p>以下によって、コロナ禍による園芸農業への打撃の低減及び生産性向上に支援することで、地域経済の回復に寄与した</p> <p>イ)、ハ)コロナ禍にあっても、営農継続のための生産性向上へ支援することで、地域経済の回復に寄与した</p> <p>ロ)コロナ禍による経済的打撃を低減させ、経営安定化に寄与した</p>
19	新型コロナウイルス関連畜産打撃克服対策事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷により影響を受ける畜産業者に対し次期に向けた支援をするもの。</p> <p>②イ 肥育牛出荷支援補助金(対象:市内畜産業者、対象経費及び補助金額:20千円/牛の出荷頭数) ロ 畜産業者の施設・機械整備支援補助金(対象:市内畜産業者、対象経費:施設・機械整備経費、補助率1/2、上限500千円)</p> <p>③イ 20千円×473頭=9,460千円 ロ 500千円×2件=1,000千円</p> <p>④市内畜産事業者</p>	令和2年6月15日	令和3年3月30日	10,025,000	10,020,000	<p>イ)肥育牛出荷支援 下落していた和牛の出荷に対して支援(1頭/20千円) 補助金:455頭、9,100千円</p> <p>ロ)施設・機械整備支援 コロナ後の回復を見据え、新たな設備投資の一部を支援 補助金:2件、925千円</p>	<p>以下によって、コロナ禍による畜産業への打撃の低減及び生産性向上に支援することで、地域経済の回復に寄与した</p> <p>イ)コロナ禍による経済的打撃を低減させ、経営安定化に寄与した</p> <p>ロ)コロナ禍にあっても、経営継続のための生産性向上へ支援することで、地域経済の回復に寄与した</p>
20	健やかさかたヘルスケア推進事業	<p>①外出自粛による運動不足を防ぐため。</p> <p>②市民向けバーチャルウォーキングラリー実施経費</p> <p>③需用費 795,000円(活動量計3,500円×1.1×200個=770,000円、消耗品20,000円、印刷5,000円) 賞賜金 116,000円 郵送料 94,000円(郵券料94円×1000人×1回) 委託料 165,000円(バーチャルウォーキングラリー委託料) うち市負担882,000円、参加者負担288,000円</p> <p>④市民</p>	令和2年9月15日	令和3年3月31日	1,222,403	0		

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
21	観光戦略・インバウンド推進事業	①Go Toキャンペーンに合わせて観光キャンペーンを行うことで観光客のV字回復につなげる。 ②③ キャンペーン経費として酒田観光戦略推進協議会へ負担金 イ キャンペーン広告経費 300,000円 冬の陣分 550,000円 ロ Go To Travelのクーポン利用者への上乗せ補助(2,900円×4,000人=11,600,000円) 冬の陣分2,000円×2,000人=4,000,000円 ハ 宿泊客へのレンタカー代補助(3,000円×500人=1,500,000円) タクシー初乗り無料クーポン 700円×1,200人=840,000円 ④市内宿泊客	令和2年6月18日	令和3年3月31日	14,241,966	14,240,000	①GoToキャンペーン上乗せ助成 3,762件 ②レンタカー助成 272件 ③冬の宿泊助成 1,063件 ④タクシー初乗り助成 474件	①③宿泊助成については、夏から秋にかけて流行が落ち着いたことから利用者が増加したことや、冬期間の閑散期における利用者の増加に効果があった。 ④宿泊客へのタクシー初乗り無料クーポンの配布は、市内飲食店へ誘客に効果があった。
22	酒の酒田の酒まつり事業	①酒田産の日本酒を国内外に発信することで観光客のV字回復につなげる。 ②③地酒の歴史やストーリー、楽しみ方紹介動画作成及びYouTube広告配信:4,940,000円 ④酒の酒田実行委員会	令和2年9月15日	令和3年3月19日	4,940,100	4,940,000	酒田の地酒の歴史やストーリー、日本酒の楽しみ方などを紹介する動画を日本語版、英語版、中国語版を制作し、YouTube広告として配信し、国内のみならず海外へPRを行い、観光誘客を図った。	YouTubeの閲覧回数は6万回以上、登録者数も300人以上であり、コロナ後の観光客とインバウンドの増加が期待される。
23	図書館総務管理事業	①図書館における感染症予防を行う ②③書籍消毒器購入費1,089,000円×2台=2,178,000円 消毒器用消耗品 45,100円×2台分=90,200円 ④図書館	令和2年9月15日	令和3年1月29日	2,268,200	2,260,000	・書籍除菌機と除菌機用消耗品の購入	・利用者の皆さんに安心して図書館の資料を利用いただくことができた。
24	行政サービス継続力強化事業	①行政サービスのリモート化を行うことで、第二波が来た際の行政サービスの継続力を強化するとともに市民向けの各種相談・説明会等をWeb上で開催可能とし、密を防ぐ。 ②イ 分散執務のための通信環境整備経費 ロ テレワーク環境整備経費 ハ Web会議関係備品購入経費 ③ イ 庁内無線LANアクセスポイント増設5,401千円 ロ ネットワーク通信費137千円 ネットワーク利用環境整備委託費(機器設置、ネットワーク設定等)2,290千円 リモートアクセス用端末購入費79千円×204台=16,116千円 リモートアクセス用ライセンス購入費17,500円×200ライセンス+18,600円×40ライセンス=4,244千円 ハ 会議室用カメラ8台+会議室用スピーカー10台=1,192千円 端末用カメラ50台=169千円 ④酒田市役所庁舎	令和2年9月15日	令和3年9月30日	25,619,524	25,478,000	・TAB系NWを新設 ・Web会議用別系統回線を整備 ・庁内LANを拡張 ・Web会議用カメラ、スピーカーを導入 ・庁内Web会議用PCカメラを整備 ・タブレット端末を各課に配備 ・ペーパーレス会議システムを稼働	・TAB系NWを新設し、Web会議用別系統回線を整備することで、増加するWeb会議への対応が可能となった。併せて、VPN接続に対応できる環境を整備し、庁外からの財務会計決裁が可能となった ・庁内LANを拡張したことで、防災計画に定める分散勤務体制においても既存システムを継続利用可能となった ・Web会議用カメラやマイクスピーカーを導入し、庁外とのWeb会議の品質と利便性が向上した ・庁内Web会議用PCカメラを整備し既存PCを活用しつつ、勤務先公所が異なる場合でも庁内Web会議によるコミュニケーションを可能とした(コロナワクチン対策室など)

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
25	新型コロナウイルス感染症関連雇用対策事業	①テレワーク設備の導入を支援することで、市内事業者の職場における密を防ぎ、既存ビジネスを維持するとともに、新たなビジネスチャンスの獲得につなげる。 ②市内事業者が行うテレワーク設備の導入支援(対象経費:テレワーク環境整備に必要な経費、補助率:2/3、上限:1,000千円)に係る経費 ③テレワーク等導入支援補助金1,000千円×10社=10,000千円 事務用消耗品費10千円 うち市負担5,000,000円、県補助金5,010,000円 ④市内事業者	令和2年7月31日	令和3年3月31日	9,413,000	4,680,000	・補助 24件 9,413,000円	・テレワーク環境が整備されたことにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止と既存ビジネス維持の両立が可能となった。 ・オンライン商談・会議等が可能となり、コロナ禍においても販路拡大など新たなビジネスチャンスの獲得に貢献した。
26	八幡地区無線LAN環境等整備事業	①鳥海山エリアで新たな客層としてのワーケーションによる需要や外国人利用客の拡充を図る。 ②イ 市内宿泊施設及び観光施設へのWiFi設備設置 □ 玉簾の滝周辺への遊歩道用照明器具、柵設置 ③イ 無線LAN環境整備業務委託料 5,721,100円 □ 遊歩道整備418,000円 歩道照明交換設置404,800円 ④市内宿泊施設及び観光施設	令和2年9月15日	令和3年3月26日	6,543,900	6,540,000	・市内宿泊施設及び観光施設へのWiFi設備設置 ・玉簾の滝周辺への遊歩道用照明器具、柵の設置	・宿泊客や観光客の利便性の向上や、安全性の確保が図られた。
27	重要港湾酒田港活性化推進事業	①酒田産農水産品の輸出に係る経費を支援することで、本市産農水産品の新たな販路開拓を図る。 ②酒田市農水産品等輸出促進助成金(対象:酒田市産農水産品等を酒田港から輸出する荷主、対象経費:コンテナ料金、補助率:定額(80千円/TEU)、上限240千円/事業者) ③80千円×10TEU=800千円 ④酒田産農水産品等を酒田港から輸出する荷主	令和2年9月15日	令和3年3月31日	480,000	0		
28	酒田交流おもてなし市民会議運営事業	①酒田の観光資源である酒田舞娘を活用した観光PRにより、観光客のV字回復を図る。 ②③酒田交流おもてなし市民会議負担金(酒田舞娘への観光PR委託費)10,000千円 ④酒田交流おもてなし市民会議	令和2年6月18日	令和3年3月31日	9,014,010	9,010,000	庄内空港でのお出迎え、修学旅行への対応、テレビ・ラジオ出演による情報発信、小学校へのシティプロモーション活動 延べ2,565人参加	修学旅行や小学校訪問は好評であり、観光資源である酒田舞娘の訴求力は大きいため、効果も大きい。観光客数の増加はコロナ後に見込んでいる。
29	庄内空港振興事業	①航空会社の知見を活かし、庄内空港就航路線の特性を踏まえた魅力発信を行うことで観光客のV字回復に取り組む。 ②航空会社への観光資源の魅力発信委託費 ③庄内空港利用振興協議会負担金 3,801千円 ④庄内空港利用振興協議会	令和2年7月31日	令和3年2月15日	3,801,000	3,800,000	庄内空港利用振興協議会に負担金を支出し、庄内空港就航路線の利用拡大に向けた各種キャンペーン企画実施、PRページの構築、新聞・雑誌への広告掲載	庄内空港利用振興協議会を中心に、ウェブサイト上のコンテンツ「感じる庄内旅」の構築及び情報発信により、庄内の魅力や庄内空港の利便性をPRできた。また、各種キャンペーンの実施により利用拡大に努めた。

No.	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
30	酒田地区農産物輸出推進協議会負担事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により既存市場が縮小していることを踏まえ、新たな農産物市場への販路拡大を図る。 ②新たな市場開拓のため、温度管理の利くリーファーコンテナを活用した船便による農産物輸送試験実施のための経費 ③酒田地区農産物輸出推進協議会負担金 5,442千円 ④酒田地区農産物輸出推進協議会	令和2年6月15日	令和3年2月19日	5,441,430	5,440,000	酒田地区農産物輸出推進協議会に負担金を支出し、酒田港からの海上輸送試験を行い、着荷状態等、品質の検証を行った。	現地の着荷状態も良好であり、産地側での集荷・予冷等、体制の整備を行うことで、安定した出荷が築ける可能性は大きいと考えられる。
31	広報広聴活動推進事業	①新型コロナウイルスへの本市の取り組み状況を市民に周知する。 ②③新聞広告料1,100千円 ④市民	令和2年7月22日	令和2年7月22日	1,100,000	1,100,000	・(株)山形新聞社で企画した「県内35市町村コロナ対応と今後の施策」特集に本市特集記事を掲載した。	・山形新聞に本市の新型コロナウイルスに関する対応状況や施策を掲載して積極的な情報発信をすることができた。
32	庁舎等維持管理事業	①市庁舎内の感染症対策を行う。 ②庁舎内の感染症予防対策備品購入経費 ③飛沫防止仕切りボード(アクリルカバー、木製スタンド、留め具等消耗品) 212,842円 非接触型体温計 51,480円 ④酒田市庁舎	令和2年9月15日	令和2年11月4日	264,322	0		
33	デジタル変革事業	①新しい生活様式に対応するため、行政サービスおよび市民のデジタル変革を図る。 ②イ市民のマイナンバーカード取得促進のため、マイナンバーカード取得者(応募多数の場合は抽選で200名)への報償費 ロ マイナンバーカードを利用した行政の電子申請を促進するためのカードリーダー購入補助金(対象経費:マイナンバーカードを読み取ることができるカードリーダー購入経費、補助率:定額(3千円)) ハ 行政情報発信及び市民からの情報処理をデジタル化するための経費 ③イ 報奨金200名×30千円=6,000千円 ハ 電子申請促進事業費補助金 500人×3千円=1,500千円 ニ 行政情報発信及び処理ツール使用料 6か月使用料 2,060千円 行政情報発信及び処理ツール導入委託料 891千円 ④イ マイナンバーカードを所持している市民 ロ マイナンバーカードを読み取ることができるカードリーダー購入者	令和2年9月15日	令和3年3月31日	9,133,121	8,380,000	・マイナンバーカードの取得者への報償費 200件 6,000,000円(申込件数2,407件) ・電子申請促進事業費補助金 293件 763,657円 ・行政情報発信ツール及び行政情報処理ツールを導入し、LINEでの情報配信及びオンラインでの申請等を行うことのできる仕組みを構築した。	・マイナンバーカードの取得及び市民のオンライン申請の促進に寄与した。 ・マイナンバーカード取得率:令和2年10月1日19.6%⇒令和3年4月1日31.2%(同時期の全国の取得率20.5%⇒28.3%) ・アンケートでは、今後同様の手続きがあった場合、「電子的に手続きを行いたい」という回答が全体の81.7%であった。 ・情報発信及び処理ツールの導入により、オンライン申請が促進され、コロナ禍において窓口の混雑緩和を図ることができた。
34	勤労者福祉センター環境整備事業	①勤労者福祉センターの整備を行い災害時の避難所として活用することで、住民の避難先の分散を図り、避難所での感染リスクを低減させる。(受水槽の更新工事を行うことで飲料水を確保することができ、当センターの避難所としての活用が可能となる) ②③空調用冷凍機更新工事費 25,853千円 受水槽更新工事費 5,800千円 ④勤労者福祉センター	令和2年9月15日	令和3年3月25日	23,663,200	23,660,000	・冷凍機更新 一式 18,481,131円 ・受水槽更新 一式 5,182,069円	施設の換気機能等の向上、避難所機能の向上により新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
35	キャッシュレス決済導入促進事業	<p>①市民のキャッシュレス決済利用を後押しすることで、キャッシュレス決済の市民への定着を図るとともに、コロナの影響により売り上げ減少した地域の中小企業者の売り上げ増加を図る。</p> <p>②キャッシュレス決済時のポイント還元キャンペーンにかかる経費</p> <p>③キャッシュレス還元キャンペーン委託費667,000千円（ポイント還元に係る経費665,532千円、販促費1,468千円） 対象店舗のPR用品作成費 48千円 PR用リーフレット作成費 485千円</p> <p>④委託先のキャッシュレス決済事業者のキャッシュレス決済サービスを市内対象店舗で利用した者</p>	令和2年7月31日	令和3年1月31日	665,839,887	665,830,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント付与率：30% ・ポイント付与上限：10,000円相当/月 ・キャンペーン期間：R2.10.1～12.31 ・対象店舗数：887店舗 ・決済額：2,614,012,638円 ・還元額：663,839,746円 	事業者及び消費者を対象としたアンケート調査では、事業者の97%が「消費を促す効果があった」と回答し、消費者の88.9%が「キャンペーン期間中は通常より多く消費した」と回答しているため、消費喚起の効果があった。
36	さかた海鮮市場管理運営事業	<p>①酒田市の主要な観光施設である「さかた海鮮市場」に2階テラスを増築することで、施設内の密回避を図る。また、1階に設置してある自動ドア4台について、耐用開閉回数を超過し正常に稼働しない恐れがあることから、非接触を保ちつつ定期的な換気を図るため、自動ドア2台を更新し、残りの2台を手動ドアに変更するもの。</p> <p>②③ 2階テラス増築工事費 4,484千円 自動ドア改修工事 828千円</p> <p>④さかた海鮮市場</p>	令和2年9月15日	令和3年3月31日	5,197,720	5,190,000	<ul style="list-style-type: none"> ・2階ウッドデッキ改修 一式 4,370,300円 ・自動ドア修繕 4台 827,420円（自動→手動2台、自動→自動2台） 	施設の換気機能、密接回避機能が大幅に向上し、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与することができた。
37	地域のリモート化促進事業	<p>①市内コミュニティセンターにWi-fi環境を整備することでリモートでの地域活動が可能な環境を整備する。また、当該施設は避難所にも指定されているため、避難者がWeb上で情報収集が可能となる。</p> <p>②③メッシュWi-fi購入費 35施設×40,857円＝1,429,995円</p> <p>④市内コミュニティセンター</p>	令和2年12月1日	令和3年1月15日	1,430,000	1,430,000	<ul style="list-style-type: none"> ・市内35か所のコミュニティ（防災）センターにWi-fiを整備し、リモート環境を構築した。 ・複数のサテライト（ルータ）を組み合わせ、一つのネットワークを構築し、電波が届きにくい会議室等にも電波を行き渡らせることが可能となった。 	新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、市内35か所のコミュニティ（防災）センターにWi-fi環境を整備したことにより、災害時の情報収集機能の強化や密な環境を避けたコワーキングなど、多様な利用形態に対応できるようになった。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
38	生活困窮者等「食」の支援事業	①新型コロナの影響により休業・失業した生活困窮者等に米を支給することで、生活の安定と経済的負担の軽減を図る。 ②米(60kg/世帯)を支給するための経費 ③米代 200世帯×10袋×2,700円=5,400千円 箱代 200世帯×2回×176円=71千円 配送料 200世帯×2回×2,068円=828千円 うち市負担3,780千円、県補助金2,519千円 ④山形県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金(特例貸付)の貸付決定を受けている世帯(生活保護を受けている世帯を除く)	令和2年7月31日	令和3年3月31日	2,615,598	1,560,000	・1世帯当たり60kgの県産米はえぬきを支給 ・給付 111件2,615,598円 ・本交付金及び県補助金を活用し、市が実施した。	・新型コロナの影響により休業・失業した生活困窮者等に米を支給することで、生活の安定と経済的負担の軽減を図ることができた。 ・地元産米を支給することで、外食自粛などで消費が落ち込んだコロナ禍においても消費を促すことができ、地域経済の循環に寄与することができた。 ・対象件数218件に対して申請件数が111件と、50.9%の利用に留まった。
39	乳幼児健診事業	①乳幼児の疾病の早期発見、発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する相談や支援を行うため、緊急事態宣言により中止・延期となった乳幼児健康診査の再開等の通知を行う。 ②③乳幼児健康診査通知発送経費199千円(94円×375通、84円×1946通) ④乳幼児健診対象者	令和2年9月15日	令和3年3月31日	163,948	0		
40	園芸大国やまがた産地育成支援事業	①コロナの影響で花き需要減少により市場価格が下落し、売上げが減少する等の影響を受ける花き生産者の次期作に必要な種苗の導入に対して支援を行う ②花き生産者向け補助金(対象者:市内花き生産者、補助対象経費:次期作のための花き種苗導入経費、補助率:2/3) ③補助金 2,292千円×2/3=1,528千円 うち市負担額764千円、県補助金764千円 ④市内花き生産者	令和2年9月15日	令和3年3月30日	1,504,000	1,500,000	イ)県産花き次期作支援次期作に向け、種苗代等の経費の一部を支援補助金:1件、1,504千円	コロナ禍による園芸農業への打撃を低減させることで、営農継続を促し、もって地域経済の回復に寄与した
41	さかた型地域材利活用促進事業	①新型コロナの影響により、新築住宅の受注件数が減少することが想定される。酒田産木材を地産地消していく取り組みが必要である。 ②地域材利活用普及事業費補助金(対象者:酒田産木材を活用し、市内施工業者によって住宅棟の工事を行う者、補助対象経費:酒田産木材の材料購入費、補助率1/2(上限20万円) ③補助金 100千円×17件+38千円+82千円+69千円+200千円=2,089千円 ④酒田市民で酒田産木材を活用し、市内施工業者によって住宅等の工事を行う者(施工主)	令和2年9月15日	令和3年4月15日	4,089,000	3,880,000	市内施工業者によって住宅の新築工事を行った施工主(市内在住者)21名に対し、酒田産木材の購入費1/2(上限20万円)を補助した。	新築住宅に積極的に酒田産木材を利用するようはたらきかける効果があった。酒田産木材の地産地消が促進された。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
42	新型コロナウイルス関連林業打撃克服対策事業	①新型コロナの影響で木材需要が減少したことにより、集成材として素材生産した木材を燃料用材に用途変更した際の価格差の一部を支援することで、売上が減少している素材生産者に対して支援を行う。 ②林業打撃克服補助金(対象者:市内素材生産者、対象経費:建築用材から燃料用材に用途変更した素材量、補助率:定額(1,000円/m ³) ③1,000円×770m ³ =770千円 ④素材生産者	令和2年9月15日	令和2年12月21日	770,000	0		
43	教育委員会事務局管理事業	①学校現場での「新しい生活様式」について市民に周知し、感染予防に対する市民の意識向上を図るとともに、GIGAスクール構想について市民への理解を得るために周知を図る。 ②教育広報を臨時増刷し配布するための経費 ③教育広報印刷代42,000部×7.7円=既決予算23,100円=300,300円 教育広報折込配布料41,300部×1.87円=77,231円 ④市広報配布先	令和2年7月31日	令和2年9月30日	379,000	0		
44	学校臨時休業対策費補助金	(学校臨時休業対策費補助金) ①学校の臨時休業に伴う学校給食休止に係る給食用食材納入業者へ発注取消による損失の補償を行い、納入業者の経営安定を図る。 ②③学校の臨時休業に伴う学校給食休止に係る学校給食食材費の補償費 3,414,137円 ④学校の臨時休業に伴う学校給食休止があった給食用食材納入業者	令和2年5月22日	令和2年6月17日	3,434,137	0		
45	学校給食施設環境整備事業(小学校)	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校臨時休業措置を行ったが、今後も感染拡大時には同様の措置を行うことが想定され、授業日数を確保するため従来夏季休業期間である盛夏時にも授業を行う可能性が生じたことにより、猛暑下での給食調理業務実施に対応する必要があることから、小学校の給食調理室に空調設備を整備し、職員の熱中症防止及び食中毒防止を図る。 ②給食調理室の空調整備費 ③空調設備設置設計委託料 825,000円×9校=7,425千円 空調設備設置工事費9校(8,186千円+11,106千円+8,855千円+9,959千円+10,122千円+8,237千円+8,834千円+7,178千円+6,334千円)=78,811千円 ④市内9小学校の学校給食施設(自校調理)	令和2年9月15日	令和3年9月13日	64,531,500	64,526,500	・市内9小学校の給食調理室に対して、空調施設を設置(繰越明許費により、令和3年9月運用開始)	・運用開始が9月となったが、残暑下においても、職員の熱中症防止及び食中毒防止に十分効果があると認められた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
46	学校給食施設 環境整備事業 （中学校）	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校臨時休業措置を行ったが、今後も感染拡大時には同様の措置を行うことが想定され、授業日数を確保するため従来夏季休業期間である盛夏時にも授業を行う可能性が生じたことにより、猛暑下での給食調理業務実施に対応する必要があることから、小学校の給食調理室に空調設備を整備し、職員の熱中症防止及び食中毒防止を図る。 ②給食調理室の空調整備費 ③空調設備設置設計委託料 825,000円×1校＝825千円 空調設備設置工事費 6,177,000円×1校＝6,177千円 ④市内1中学校の学校給食施設（自校調理）	令和2年9月15日	令和3年9月6日	6,297,500	6,292,500	・市内1中学校の給食調理室に対して、空調施設を設置（繰越明許費により、令和3年9月運用開始）	・運用開始が9月となったが、残暑下においても、職員の熱中症防止及び食中毒防止に十分効果があると認められた。
47	学校トイレ改修事業	①避難所にもなっている中学校において、トイレでの感染を予防する改修のための設計を行い、生徒及び災害避難者の感染症拡大防止を図る。 ②トイレ改修（洋式化、飛沫防止のための便座への蓋掛け、床のドライ化、自動水洗化等）のための設計費 ③トイレ改修工事設計業務委託費 7,135千円×1校＝7,135千円 ④市内1中学校	令和2年9月15日	令和3年3月5日	7,134,600	7,130,000	・本事業で第六中学校トイレ改修工事の設計を行った。 ・本成果を活用することで、令和2年度第3次補正の補助事業採択があり、第1期工事の実施に至った。（令和4年1月工期）	・施設の飛沫防止、衛生向上に資する工事を行うための設計を早期に行うことができた。 ・本成果をもとに、早期工事着手することができた。
48	就学援助世帯等臨時特別給付金事業	①就学援助等を受けている世帯の生活支援を行う ②就学援助世帯等臨時特別給付金（対象：就学援助等を受けている世帯、支給額：20千円） ③20,000円×84世帯＝1,680,000円 ④就学援助（酒田市要保護及び準要保護児童生徒就学援助）等受給世帯の認定を受けており、酒田市ひとり親家庭等緊急支援金を受給していない保護者	令和2年6月18日	令和3年3月31日	1,680,000	1,680,000	対象となる全世帯（84世帯）に給付することができた。 20千円×84世帯＝1,680千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている就学援助等受給世帯の生活の安定に寄与することができた。
49	修学旅行キャンセル料等補助事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行を中止または延期した際に発生するキャンセル料等を支援することで、家計支援を行う。 ②修学旅行キャンセル料等（児童生徒一人につき小学生は10,945円、中学生は30,455円を上限とする） ③修学旅行キャンセル料等補助金 小学生分 0円（0人） 中学生分 1,593,184円（703人） ④新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行のキャンセル料が発生した児童生徒の保護者	令和2年9月15日	令和3年3月31日	1,593,184	1,590,000	キャンセル料等が発生した生徒の保護者（858人）に補助金を給付することができた。	対象者の家計負担を軽減することができた。

No.	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
50	学校保健特別 対策事業費補 助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①市立学校の新型コロナ対策を行うことで、安全な学習環境を整備する。 ②市立小中学校の新型コロナ対策経費 ③【感染症対策のためのマスク等購入支援事業分】 消毒用アルコール等購入費 2,374,802円 【学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業分】 小学校分1,000千円×16校+1,500千円×6校=25,000千円 中学校分1,000千円×2校+1,500千円×4校+2,000千円×1校=10,000千円 ④市内小中学校	令和2年6月15日	令和3年3月31日	34,314,991	17,100,000	・消毒用アルコール、非接触体温計、空気清浄機、スポットクーラー等の購入	・消毒用アルコールなどの物品が充実することで、学校再開の不安を軽減することができた。 ・三密や熱中症の解消といったニーズに対応することができた。 ・予算を学校に再配分したことにより、学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができた。 ・学校の実情に合った必要物品を購入することで、よりきめ細かい対策が図られた。
51	公立学校情報 機器整備費補 助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業及びGIGAスクールサポーター配置支援事業) ①市内小中学校における臨時休校時の遠隔学習機能強化を行うとともに、GIGAスクール構想の実現を行う。 ②イ 学校からの遠隔学習機能の強化事業に係る経費 ロ GIGAスクールサポーター配置支援事業に係る経費 ③イ 遠隔学習用webカメラ購入費 4,840円×197台=953,480円 ロ GIGAスクールサポーター委託料 6,900,000円 ④市内小中学校	令和2年7月31日	令和3年3月31日	7,435,450	3,750,000	・webカメラ、ヘッドセットマイクのセットを購入 3,850円×197=7,58,450円 学校規模の応じて配分 ・GIGAスクールサポーターにより、タブレット端末の基本操作や遠隔学習のやり方等について、各校研修63回、集合型研修11回を実施。 委託金額 6,677,000円	コロナ感染等による臨時休業の際に、オンライン授業等で学びを止めない体制の基礎を整備できた。
52	GIGAスクール 推進事業	①市内小中学校における臨時休校時の遠隔学習機能強化を行うとともに、GIGAスクール構想の実現を行う。 ②イ GIGAスクール構想用情報機器関連経費 ハ 情報教育推進室(教員への情報教育研修や教材作成等を行う施設)整備費 ③イ 126,474千円 学習用端末購入費(3人に1台のうち未整備分)(49,280円+1,980円)×2,465台=126,355,900円 (※1,980円:学習支援ソフト、フィルターソフト代) 学校側LTE接続用ルータ借上料 14,630円×4台=58,520円 学校側LTE接続通信料 4,950円×4台×3月=59,400円 ハ 23,860千円 情報教育推進室を整備するための施設修繕費 7,249,000円 光回線等使用料 10,560円×2月=21,120円 情報教育推進室備品購入費 16,589,000円 ④市内小中学校	令和2年7月31日	令和3年3月31日	132,231,450	132,230,000	・学習用端末(3人に1台のうち未整備分)の購入 112,458,000円 ・学校側LTE接続通信料 4,180円×4台×3台=50,160円※借上料を含む ・情報教育推進室施設修繕費 4,564,780円 ・光回線使用料 11,110円 情報教育推進室備品購入 15,147,400円	タブレット端末等の導入や、情報教育推進室における教員研修等により臨時休校時の遠隔学習機能を強化できた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
53	文化芸術振興費補助金	<p>(文化施設の感染症防止対策事業)</p> <p>①文化芸術施設の感染症対策を行うことで、新型コロナウイルスが拡大する中でも市民が安心して文化芸術に触れることができる環境を整備する。</p> <p>②イ 酒田市美術館の新型コロナ対策経費 ロ 市民会館の新型コロナ対策経費</p> <p>③イ 館内空調設備改修に係る修繕費 1,019,370円 ロ 消耗品費(消毒液 12本×3,811円=45,732円、マスク 12箱×825円=9,900円) 55,632円 ・非接触放射温度計 4台×34,650円=138,600円 ・飛沫防止パーテーション 4台×14,520円=58,080円</p> <p>④イ 酒田市美術館 ロ 市民会館</p>	令和2年9月15日	令和3年1月27日	1,271,682	0		
54	美術館管理事業	<p>①文化芸術施設の感染症対策を行うことで、新型コロナウイルスが拡大する中でも市民が安心して文化芸術に触れることができる環境を整備する。</p> <p>②酒田市美術館の新型コロナ対策経費</p> <p>③非接触放射温度計 2台×34,078円=68,156円 体表面温度チェッカー 1台×217,800円=217,800円</p> <p>④酒田市美術館</p>	令和2年9月15日	令和2年12月10日	285,956	0		

No.	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
55	市民会館施設 管理事業	①文化芸術施設の感染症対策を行うことで、新型コロナウイルスが拡大する中でも市民が安心して文化芸術に触れることができる環境を整備する。 ②市民会館の新型コロナ対策経費 ③座席消毒清掃委託費 57,200円×4月=228,800円 消耗品費 ソーシャルディスタンス表示用品一式 96,250円 体表面温度チェッカー 2台×217,800円=435,600円 空気洗浄機 26台一式=1,159,400円 ④市民会館	令和2年7月31日	令和3年3月23日	1,920,050	1,920,000	・空気洗浄機、温度チェッカー、館内ディスタンス表示の購入 ・座席消毒の清掃委託	・市民会館の感染予防対策を講じたことにより、市民が安心して文化芸術に触れる環境を確保することができた。
56	生涯学習施設 管理運営事業	①総合文化センターにおいてweb会議を可能とすることで、新型コロナウイルスにより講師等が来れない時でも遠隔での各種セミナーを開催できる体制を整備する。 ②web会議用備品購入費 ③ディスプレイ 84,590円 テレビスタンド 27,830円 マイク・カメラ 119,790円 ④総合文化センター	令和2年9月15日	令和3年3月22日	232,210	0		
57	文化財施設管理 運営事業	①来館者の感染拡大防止のため、文化施設の空調設備を更新することで新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも市民が安心して文化に親しむことができる環境を整備する。 ②③松山文化伝承館空調設備工事費 15,158,000円 ④松山文化伝承館	令和2年9月15日	令和3年3月23日	15,158,000	15,150,000	・空調設備の改修	・施設の換気機能が向上し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。
58	生涯学習施設 整備事業	①来館者の感染拡大防止のため、生涯学習施設の空調設備を修繕することで新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも市民が安心して生涯学習できる環境を整備する。 ②ひらた生涯学習センターの空調設備修繕費 ③空調設備修繕費(大研修室2台、中研修室3台、小研修室1台、和室1台) 4,400,000円 ④ひらた生涯学習センター	令和2年9月15日	令和3年2月24日	4,400,000	4,400,000	・空調設備の改修	・施設の換気機能が向上し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。
59	写真展示館管理 事業	①来館者の感染拡大防止のため、写真展示館に体温計等の備品を整備し、新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも市民が安心して文化に親しむことができる環境を整備する。 ②備品購入費 ③非接触放射温度計 2台×34,078円=68,156円 体表面温度チェッカ 1台×217,800円=217,800円 ④写真展示館	令和2年9月15日	令和2年12月23日	285,956	0		

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
60	体育施設管理 事業	①施設利用者の感染拡大防止のため、体育施設の換気設備修繕及び備品整備することで、新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも市民が安心してスポーツに親しむことができる環境を整備する。 ②イ 体育施設換気扇修繕費 □ 温度計購入費 ③イ 換気扇修繕費 386,100円 □ 温度計購入費 16施設×1台×32,000円×消費税＝563,200円 ④市内体育施設	令和2年9月15日	令和2年11月24日	949,300	0		
61	新型コロナウ イルス感染症 対応地方創生 臨時基金積立 金	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者に対する利子補給及び保証料補給を継続的に行うための基金を造成する。 ②基金積立金 ③利子補給金(175,920千円)、保証料補給(99,080千円) ④市内事業者へ融資した金融機関	令和3年2月26日	令和3年3月19日	275,000,000	275,000,000	基金積立額: 275,000,000円	
62	新築住宅緊急 支援事業	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた住宅産業を支援する。 ②酒田産木材を使用した住宅を新築した者に一戸あたり100万円を支援する経費 ③補助金1,000千円×18戸＝18,000千円、事務費18千円 うち市負担9,000千円、県補助金9,018千円 ④酒田産木材を一定量使用した住宅を新築した者	令和2年10月19日	令和3年3月31日	18,018,957	9,000,000	・補助18件18,000千円 ・10月19日に受付を開始し、19件の申し込みがあり(うち1件辞退)、1月8日に募集を終了した。 ・18件の新築住宅工事に補助金を交付した。	・以前より新築住宅の補助制度の要望が多くあったこともあり、新制度で短い周知期間にも関わらず執行率が高く、市内業者や市民のニーズに合った事業となった。 ・本事業を契機に酒田産木材に切り替えた方がおり、地元企業の活用により酒田産木材の利用を促進でき、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ住宅産業を支援することができた。
63	住宅リフォー ム総合支援事 業	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた住宅産業を支援する。 ②通風式玄関ドアや全熱交換型換気扇の設置など、新生活様式に対応した住宅リフォーム工事を実施した者を支援する経費(補助対象額: 工事費、補助率: 1/2、補助上限: 20万円) ③補助金87件13,027千円、事務費80千円 うち市負担6,527千円、県補助金6,580千円 ④新生活様式に対応した住宅リフォームを行った者	令和2年10月19日	令和3年3月31日	13,109,665	6,520,000	・補助87件13,027千円 ・10月19日に受付を開始し、88件の申し込みがあり(うち1件辞退)、1月18日に予算額に達したため募集を終了した。 ・87件の新生活様式工事に補助金を交付した。	・本事業を契機に新生活様式工事を行った方がおり、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ住宅産業を支援することができた。

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
64	定期航路事業 特別会計操出 金	<p>①酒田と飛島を結ぶ定期船の感染症予防を行うとともに、キャッシュレス対応を行うことで、住民及び観光客に安全安心で便利な定期船を目指す。</p> <p>②定期航路事業特別会計に操り出し、以下のイ及びロを行う経費を交付対象経費とする。</p> <p>イ 感染症予防用品購入 ロ キャッシュレス決済導入</p> <p>③イ 船内トイレ洗面器水栓交換修繕 116千円、消耗品（非接触型体温計 3個）39千円 ロ キャッシュレス対応機器整備費（タブレット端末、ウイルス対策ソフト、モバイルプリンタ、Wi-fiルーター、各種機器取付設定作業費）一式 506千円 多機能電話装置整備費（電話主装置、電話機、取付工事費等）990千円</p> <p>④定期航路事業特別会計</p>	令和2年4月20日	令和3年4月14日	1,212,090	1,210,000	<p>・非接触型体温計の購入、定期船「とびしま」船内の洗面化粧台水栓を非接触型に交換修繕を実施した。</p> <p>・キャッシュレス決済（ペイペイ、エアペイ）を導入開始した。</p> <p>・電話機をひかり電話に対応した機器に更新した。</p>	<p>・非接触型の水栓交換やキャッシュレス決済導入により定期船利用者が水栓や紙幣などに付着した他者を媒介とした感染源から接触を避けることで、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。</p> <p>・キントーンによるインターネットを媒体とした予約システムを構築し、キャッシュレス決済に使用しているタブレットや多機能型電話によって予約に関する問い合わせを複数名で対応することで利用者の利便性が向上した。</p>
65	各種予防接種 事業	<p>①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療体制のひっ迫及び医療現場での混乱を防ぐため、インフルエンザ予防接種を行う</p> <p>②インフルエンザ予防接種助成に要する経費（一般：一律1,700円補助、生活保護受給世帯：全額補助）</p> <p>③色上質紙、印刷製本費357,137円 委託料64,374,320円（一般：1,700円×37,216人＝63,267,200円 生保：328人 1,107,120円） 扶助費297,500円（1,700円×175人）</p> <p>④以下のいずれかに当てはまる市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の方 ・高校3年生以下（生後6か月～18歳）の方 ・妊娠中の方 ・19～64歳の基礎疾患のある方 	令和2年9月30日	令和3年3月31日	47,820,569	21,760,000	<p>・インフルエンザ予防接種を実施した協力医療機関への委託料</p> <p>・予診票、接種済証の作成</p> <p>・協力医療機関以外で接種した方への接種助成額の償還払い</p>	<p>・インフルエンザの流行を抑え、新型コロナウイルス感染症との同時流行防止に寄与することができた。</p>
66	児童発達支援 センター管理 事業	<p>①児童発達支援センター内のエアコンの交換修繕を行うことで、換気機能を高め、施設内での感染リスクを低減するもの。</p> <p>②③エアコン交換1台 853,000円</p> <p>④児童発達支援センターはまなし学園</p>	令和2年12月14日	令和3年3月31日	778,800	0		

No	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 （実績）	効果検証 （事業評価）
67	コミュニティセンター管理運営事業	<p>①酒田市の指定緊急避難所となっている市内のコミュニティセンターにおいて、換気機能等の交換修繕・設置を行うことで、避難所内での感染リスクを低減するもの。また、全てのコミュニティセンターをコロナ禍における避難所として活用できるよう施設を整え、住民の避難先の分散を図るもの。</p> <p>②エアコンや換気扇の修繕、網戸の設置、トイレ内の非接触型スイッチの設置にかかる経費</p> <p>③松陵コミュニティ防災センター エアコン設置1台 903,100円 松原コミュニティ防災センター 換気扇交換3台 999,900円 新堀コミュニティ防災センター エアコン交換2台 2,047,000円 浜中コミュニティセンター エアコン交換1台 880,000円 東平田コミュニティセンター エアコン交換3台 3,964,000円 北平田コミュニティセンター エアコン交換3台 2,500,000円 上田コミュニティ防災センター エアコン交換3台 3,305,000円、換気扇交換1台 128,700円 観音寺コミュニティセンター 換気扇1台 89,100円、トイレ内非接触型スイッチ設置 383,900円 大沢コミュニティセンター 換気扇交換1台 550,000円 南部コミュニティセンター 網戸設置4部屋分 168,190円 砂越・砂越緑町コミュニティセンター エアコン交換1台</p>						
68	無線システム普及支援事業費等補助金	<p>（高度無線環境整備推進事業）</p> <p>①飛島に光ファイバー回線を整備し、高速かつ大容量通信を可能とするもの ②飛島への光ファイバーの整備に係る経費 ③ 飛島情報通信基盤整備委託料 2,204,620千円 補償費 18,480千円 事務費 402千円 ④飛島</p>	令和3年1月12日	令和4年1月末	1,920,884,940	8,702,550	飛島に光ブロードバンドサービスを提供するための情報通信基盤を整備した。 （令和4年2月運用開始）	ワーケーションや観光客、移住者の誘致等、過密する都市部から飛島に人の移動を促すための社会基盤を整備することができた。
69	飛島情報通信基盤整備事業	<p>①飛島に光ファイバー回線を整備し、高速かつ大容量通信を可能とするもの ②飛島への光ファイバーの整備に係る経費 ③ 飛島情報通信基盤整備事業事務費 2,309千円 ④飛島</p>	令和2年9月15日	令和4年1月末	208,331	0		

No.	事業名称	実施計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	交付金充当額	実施状況 (実績)	効果検証 (事業評価)
70	契約事務関連事業	①入札参加者の来庁が不要となるため、人との接触を回避でき、また外出自粛制限期間においても安全に入札を執行するためのもの ②③ 電子入札システム構築委託料 16,505,000円 電子入札コアシステム利用料 80,000円 電子入札専用クライアントソフト購入費 37,000円 電子入札システム導入に係る経費 ④酒田市契約検査課	令和2年12月14日	令和3年10月6日	16,504,950	16,504,950	電子入札システムの導入により、現行の紙による入札から開札までの手続きを、インターネットを利用して電子的に行えるように実施した。	新型コロナウイルスの感染拡大の防止やデジタル変革の推進を見据え、従来の対面又は郵送入札による行政手続きコストを削減し、入札参加者の利便性の向上が図られた。
71	住民票等コンビニ交付事業	①コロナ禍により利用が急増した住民票等コンビニ交付サービスについて、新たな証明発行サーバを導入することで、迅速に各種証明書等の発行を可能にするもの。 ②証明発行サーバ導入に係る経費 ③コンビニ交付システム刷新業務委託料 58,229,000円 ④酒田市市民課	令和3年2月26日	令和3年9月27日	57,618,000	57,618,000	・令和3年度 メンテナンス利用停止 4日 利用件数 10月 647件 11月 637件 12月 663件 ・前年同時期 メンテナンス利用停止 9日 利用件数 10月 361件 11月 337件 12月 295件	・コンビニ交付システムのメンテナンスによる利用停止期間が短縮し、利用件数が増加。その分市役所窓口への来庁件数が減少し、3密となる状況に改善がみられた。
72	新生児子育て応援特別給付金事業	①特別定額給付金給付事業の対象外となった新生児を対象に、給付金を支給するもの。 ②③ 対象者500人×給付金10万円=50,000,000円 事務経費250,000円 ※給付金10万円のうちの1/2と事務経費10/10は県負担 ④令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、本市に出生後最初の住民登録をされた子	令和2年10月12日	令和3年3月31日	44,791,756	13,990,000	・対象児童447人分について給付金を支給した。	・特別定額給付金の対象外とされた新生児に対して応援金を給付することで、社会の宝である赤ちゃんの誕生を祝福し子育て世帯を応援することができた。
73	放課後児童健全育成事業	①十坂学童保育所内のエアコンの交換修繕を行うことで、換気機能を高め、施設内での感染リスクを低減するもの。 ②③エアコン交換1台 1,254,000円 ④十坂学童保育所	令和2年12月14日	令和3年3月8日	1,045,000	0		
74	文化活動支援事業	①市内博物館等へのコロナ収束後の対策として、V字回復を図るための事業実施を支援するもの ②③「前年度入館者数×入館料(大人)×0.9」により得られた額又は2,500万円のいずれか低い額 ④本間美術館	令和2年12月14日	令和3年2月12日	25,000,000	25,000,000	・補助1件25,000,000円(交付先:公益財団法人本間美術館)	・文化観光推進法の認定を受け、コロナ禍で入館者数が大きく減少する中、V字回復を図る取り組みを支援することで、文化の振興並びに地域経済への波及効果につながる循環に寄与することができた。